

(公財)京都高度技術研究所	令和4年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

**基本事項**

所管局課	産業観光局産業 イノベーション推進室	本市出えん金	100,000 千円
基本財産/資本金	300,000 千円	本市出えん率	33.3 %

**当年度の運営方針**

業務面	<p>公益財団法人京都高度技術研究所（ASTEM）は、国内外の大学、研究機関、企業等との連携により、京都地域における科学技術の振興や企業経営に関する支援を通じて、地域産業の発展と市民生活の向上に寄与することを目指している。</p> <p>当年度は引き続き平成31年3月に策定したASTEM第Ⅲ期中期計画に掲げる4つのビジョンを見据え、各事業部門ごとに掲げた重点取組を着実に遂行していく。</p> <p>また、新型コロナウイルスにより経営状況が悪化する中小企業者への支援を進める一方、スタートアップ創出、官民のデジタル・A I実装に対する課題解決、脱炭素・資源循環推進などの社会的ニーズに対して、ASTEMの強みである研究開発力・技術力・経営支援力を活用して積極的に対応していく。</p> <p>事業の推進に当たっては、どのような事業効果を挙げているのか、これまで以上に分かりやすく発信するよう努める。</p>
財務面	<p>財団の財政運営について、業務の効率化や更なる収益確保に取り組むことによって、単年度収支の黒字化を図る。</p> <p>また、財務基盤の強化を図り、定款に掲げる目的を達成するための事業活動を将来にわたり着実に実施できるようにするため、ASTEM独自の安定収益源・ビジネスモデルの構築を進める。</p> <p>さらに、これまでのASTEMの支援により、成果を上げた企業・団体等に貢献いただく仕組みを拡充し、継続的に支援していただくための取組を開始する。</p>
組織面	<p>財団の組織運営について、京都市の公益事業を推進する上で必要かつ、持続的に安定した事業推進体制を構築するため、人事・組織・財政に関する制度や仕組みの見直しを継続的に実施する。また、京都市の産業政策の実行機関として、さらにはICTを中心とした市民・企業向けサービスの開発支援機関として社会環境の変化に適切に対応するため、専門知識を有する人材の登用など人員体制を確保するとともに、組織基盤・部門間連携の強化を図るための職員研修等の実施や、幹部候補となる職員の育成を強力に進める。</p>

**主要財務数値**

(単位:千円)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考欄
	予算	実績	予算	見込	予算	実績(※)	
経常収益	2,265,579	2,211,106	1,459,560	1,377,000	1,285,000		令和3年度見込は、令和3年12月時点で暫定的に集計したものであり、期末に向けて更なる収益の確保、経費節減に取組中。
経常費用	2,285,928	2,343,774	1,473,329	1,446,000	1,285,000		
当期経常増減額	△ 20,349	△ 132,669	△ 13,770	△ 69,000	0		
当期正味財産増減額	△ 99,945	△ 216,650	△ 91,079	△ 145,000	△ 74,000		令和4年度予算における当期正味財産増減額のマイナス(△74,000千円)は京都市成長産業創造センターの建物設備に係る減価償却額である。
資産合計		- 3,021,090		-			
負債合計		- 1,258,618		-			
正味財産		- 1,762,472		-			
うち累積損益額		- 1,462,472		-			

**京都市の人的支援・財政的支援**

(単位:千円)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考欄
	予算	実績	予算	見込	予算	実績(※)	
補助金額		798,454		252,107	304,883		職員人件費及び事業費等補助金
派遣職員数		8人		8人	7人		
貸付金残高		0		0	0		年度末残高(見込)

当年度の取組目標に対する総括(※)

団体	
所管局	

(1)業務に関する取組

目標「産業支援機能の拡充」

当年度目標	<p>平成31年3月に策定したASTEM第Ⅲ期中期計画に掲げる4つのビジョン「地域の様々な産業と企業が支え合う産業連関都市の形成」、「先端情報と未来社会の課題を先取りした研究活動、新規ビジネスの創出」、「持続可能な社会の構築に向けた先導的取組の推進」、「未来の社会において活躍できる人材の育成」を見据え、各事業部門ごとに掲げた重点取組を着実に遂行していく。</p> <p>具体的には、ベンチャー企業目利きAランク認定、オスカー認定等の認定企業に対する成長支援を強化するとともに、京都市域内の産業支援機関等との連携により、域内のスタートアップ・エコシステムを整備・拡充し、世界に伍するスタートアップ企業の創出を図る。</p> <p>また、優れた技術を有する企業の新事業創出やAI、IoT技術など次世代を睨んだ研究開発の推進に向けて国プロジェクト等の獲得に積極的にチャレンジする。さらに、デジタル技術を活用して新たなビジネスモデル創出するDX（デジタルトランスフォーメーション）やデジタル化に取り組む中小企業に対しても、きめ細かい支援を行う。</p> <p>さらに、脱炭素・資源循環分野では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け研究開発ニーズが高まっており、このチャンスを捉え、国の補助事業を活用してこれまで取り組んできたPHA系バイオプラスチックのライフサイクル実証研究を継続的に推進するとともに、新たなプロジェクトの受託活動に注力する。</p>
当年度結果(※)	

指標	国等プロジェクトの新規獲得数（年間） <span style="float: right;">（単位：件）</span>							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	/	7	/	6	/	2	7	

(2)財務に関する取組

目標「財務基盤の強化」

当年度目標	<p>ASTEM独自の安定収益源・ビジネスモデルの構築に向け、中期計画に基づき、ヘルスケア分野や先端ICT分野などにおいて地域課題の解決や地域産業の創出に向けた研究開発や伴走支援等を行い、自主財源の確保につながる新規ビジネスの発掘に努める。</p> <p>また、新たな国等のプロジェクトを積極的に獲得し、補助金・委託費の確保を図る。</p> <p>当年度は、上記に加えて、行政や中小企業等のICT化に関するコンサルティングや技術支援、人材育成講座の有料化推進等、収益源の開拓、確保に取り組むとともに、外部委託業務の内製化、基幹業務のデジタル化等による経費節減や効率化に努めることにより、単年度収支の黒字化を図る。</p> <p>さらに、これまでのASTEMの支援により、成果を上げた企業・団体等に貢献いただく仕組みを拡充し、継続的に支援していただくための取組を開始する。</p>
当年度結果(※)	

指標	当期一般正味財産増減額 <span style="float: right;">（単位：千円）</span>							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	/	64,259	/	△ 139,614	/	△ 69,000	0	

(公財)京都高度技術研究所	令和4年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	-----------------------

**(3)組織に関する取組**

**目標「事業推進体制(組織, 人員等)の整備」**

当年度目標	財団の組織運営について、京都市の公益事業を推進する上で必要かつ、持続的に安定した事業推進体制を構築するため、人事・組織・財政に関する制度や仕組みの見直しを継続的に実施する。また、京都市の産業政策の実行機関として、さらにはICTを中心とした市民・企業向けサービスの開発支援機関として社会環境の変化に適切に対応するため、専門知識を有する人材の登用など人員体制を確保するとともに、組織基盤・部門間連携の強化を図るための職員研修等の実施や、幹部候補となる職員の育成を強力に進める。
当年度結果(※)	

指標	人材育成のための研修等の実施 <span style="float: right;">(単位：回)</span>							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	/	0	/	0	/	1	2	